チェックリスト及び注意事項

設置場所	八街市
申請者	邸

八 街 市

施工写真チェックリスト

- 設置場所に浄化槽設備士が標識を掲げ、地縄張りがしてある写真
(敷地整理完了後、浄化槽の設置位置に縄または白線(石灰等)を引いた写真)
- 掘削後の写真
- 栗石の厚みのわかる写真
(栗石のつき固めが終了後、厚みがわかるようスケールとともに写す。)
- 目つぶし・つき固め後、配筋の状況がわかる写真
(ランマー等の道具を入れ、スケールをあてピッチも併せて写す。)
- 擁壁が必要な場合は、その写真
(配筋・結束の状態がわかる写真。中間検査後コンクリートを流した後の高さ、厚みがわかる写真)
- 上部を駐車場等にする場合で支柱が必要な場合は、その写真
(配筋・結束の状態がわかる写真・中間検査後コンクリートを流した後の写真。ただし耐圧の評定を受けている浄化槽を設置する場合は必要ありません。)
- 中間検査時の写真
(※ 市役所職員立ち会いの写真。)
- コンクリートを打った写真
(コンクリートの厚みがわかるようスケールとともに写す。)
- 設置場所にある浄化槽本体の写真
- 据え付けの写真
(水準器にて水平を確認しつつ、水張りをしていることがわかるように写す。)
- 埋め戻し作業の写真 ※ 1枚で撮れない場合は、2枚以上で撮ること
(水準器にて水平を確認しつつ、石等が入っていない土砂で、水じめ、つき固めを行っていることがわかるように写す。)
- 上部スラブの碎石と配筋状況(補強筋等)がわかる写真
※ この写真が無い場合は、破壊検査等を実施する場合があります。
- 上部スラブコンクリート打設の写真
(コンクリートの厚みがわかるようスケールとともに写す。)
- かさ上げをした場合は、最高の高さが30cm以下であることがわかる写真。
- 配管・インバート弁設置状況の全景写真
(起点・屈曲点・合流点にインバート弁を設置する。)
- 起点弁・屈曲弁・合流弁等の写真
(弁の内部に水準器を入れ写す。)

- 単独処理浄化槽設置状況写真
(設置場所及び設置状況がわかるように、周囲の風景を入れて写すこと。)
- 単独処理浄化槽の汚泥引き抜き作業の写真
- 消毒作業の写真
- 単独処理浄化槽の解体又は、掘上げ作業の写真
 - 解体する場合は、解体後撤去する部分と残置する部分の写真
 - 掘上げる場合は、掘上げた浄化槽全体の写真
- 浄化槽撤去後の写真
(一部埋め戻しの場合は、底を抜いている作業がわかるもの。)
- 埋め戻し作業の写真
(同じ場所に合併処理浄化槽を設置する場合は、必要ありません。)
- 埋め戻し後、作業完了の写真
(同じ場所に合併処理浄化槽を設置する場合は、必要ありません。)

以上の写真を通常補助の写真と共に実績報告書に添付して下さい。

注 意 事 項

- ・みず糸やピンポールを使用し高さや厚みがわかるようにし黒板に明示すること。
- ・目盛りが確認できるように撮ること。1枚で撮れない場合は2枚(全体・近距離)にして撮ること。
- ・深基礎の場合は、深基礎の底がわかるように掘削し、GLから深基礎の底までスケールをあて深さがわかるように撮ること。
- ・各マスの写真は、マス内部(インバート部分)に水準器を入れ、黒板にマスのナンバーを記載し撮ること。
- ・中間検査時に栗石の厚みを確認するため、一個所掘らしていただきます。
- ・写真は鮮明なものを提出してください。
- ・マニフェストは排出元(申請者の住所、名前等)がわかるようにしてください。